

## 漢字検定1級(H5~H25) 四字熟語問題出題統計

四字熟語	よみ	出題回数	意味
造次顛沛	ぞうじてんぱい	7	あわただしいとき。とっさのとき。
嘔啞嘲哳	おうあちょうたつ	6	洗練されておらず、調子の狂った聞きぐるしい乱雑な音のこと。また、子供がやかましく騒ぎたてている声のこと。
偕老同穴	かいろうどうけつ	6	夫婦の契りがかたく、仲むつまじいこと。
繁文縟礼	はんぶんじょくれい	6	形式や手続きが複雑で面倒なこと。
阿諛追従	あゆついしょう	5	相手に気に入られようと、こびへつらうこと。
隔靴搔痒	かつかそうよう	5	思い通りにいかず、はがゆく、もどかしいこと。
苛斂誅求	かれんちゅうきゅう	5	税金などを情け容赦なく取りたてること。
旗幟鮮明	きしせんめい	5	主義・主張・態度などがはっきりしていること。
揣摩臆測	しまおくそく	5	物事を自分の心だけでいいかげんに推測すること。
嘯風弄月	しょうふうろうげつ	5	自然の風景に親しみ、風流を好んで楽しむこと。
切齒扼腕	せつしやくわん	5	非常に悔しがらさ。
瞻望咨嗟	せんぼうしさ	5	遠くのぞみ見てその素晴らしさにため息を吐く。
袒裼裸裎	たんせきらてい	5	はなはだ無礼なこと。
桃李成蹊	とうりせいけい	5	徳がある人のもとにはだまっけても自然に人が集まってくるということ。
暴虎馮河	ぼうこひょうが	5	向こうみずのたとえ。血気にまかせた無謀な行動のこと。
麻姑搔痒	まこそうよう	5	物事が思いのままになること。また、行きとどくこと。
老驥伏櫪	ろうきふくれき	5	人が年老いてもなお大きな志をいだくことのたとえ。
韋編三絶	いへんさんぜつ	4	書物を繰り返し読むこと。読書や学問に熱心なたとえ。
右顧左眄	うこさべん	4	右を見たり左を見たりためらい迷うこと。情勢を気にして決断できないこと。
延頸挙踵	えんけいきょしょう	4	人の来訪を待ち望むさま。
偃武修文	えんぶしゅうぶん	4	世の中が穏やかで平和なこと。
薤露蒿里	かいろうこうり	4	人の人生のはかないことのたとえ。
曲突徙薪	きょくとつしん	4	未然に災難を防ぐこと。
霓裳羽衣	げいしょううい	4	うすい絹などで作った、女性の美しくて軽やかな衣裳のこと。また、舞曲の名。
尸位素餐	しいそさん	4	ある地位にいて職責を果たさずにむだに禄をもらっていること。
櫛風沐雨	しっふうもくう	4	非常に苦勞することのたとえ。
春風駘蕩	しゅんぷうたいとう	4	何事もなく平穏なさま。また、穏和でのんびりとした人柄のこと。
蒼蠅驥尾	そうようきび	4	凡人が賢人のおかげで功績をあげることのたとえ。
魑魅魍魎	ちみもうりょう	4	いろいろな化け物。また、私欲のために悪だくみをする悪人のたとえ。
跳梁跋扈	ちょうりょうばっこ	4	悪者などがはびこり、勝手気ままに振る舞うこと。
銅牆鉄壁	どうしょうてつぺき	4	守りの堅牢なことのたとえ。
不撓不屈	ふとうふくつ	4	どんな困難にもくじけないこと。
秉燭夜遊	へいしょくやゆう	4	人生ははかなく短いので、せめて夜も灯をともして遊び、生涯を楽しもうということ。
瑶林瓊樹	ようりんけいじゅ	4	人品が卑しくなく高潔で、人並みすぐれていること。
蘭摧玉折	らんさいぎょくせつ	4	賢人や美人などの死をいう。
蛙鳴蟬噪	あめいせんそう	3	役に立たない議論や、内容に乏しく下手な文章。
烏焉魯魚	うえんろぎょ	3	文字の書き誤り。
郢書燕説	えいしょえんせつ	3	こじつけること。
依枯爨屨	えこひいき	3	片方に心をかたむけ助けること。好きな方だけ肩入れすること。
燕頷虎頸	えんがんこけい	3	燕のようなあごと、虎のような頸。遠国の諸侯となる人相をいう。
海市蜃樓	かいししんろう	3	現実性に乏しい考えや理論。また、根拠がなくありもしないこと。
跼天躋地	きょくてんせきち	3	非常に恐れて身のおきどころのない形容。また、肩身を狭くして世をはばかりて暮らすこと。
金甌無欠	きんおうむけつ	3	完全に欠点がないたとえ。特に、他国から侵略されたことがない堅固な国家のたとえ。
緊蹙一番	きんこんいちばん	3	気持ちを引き締めて物事に取り組むこと。
結跏趺坐	けつかふざ	3	仏教の座法の一つ。
拳拳服膺	けんけんふくよう	3	常に心に銘記して、決して忘れないこと。
光風霽月	こうふうせいげつ	3	心が清らかでわだかまりがなく、爽快であること。
豪放磊落	ごうほうらいらく	3	気持ちが大らかで、小さなことにこだわらないこと。
瑣碎細膩	ささいさいじ	3	情のこまやかなこと。

## 漢字検定1級(H5~H25) 四字熟語問題出題統計

舳舻千里	じくろせんり	3	多数の舟がはるか彼方まで連なること。
叱咤激励	しったげきれい	3	大声で励まして、奮いたたせること。
神韻縹渺	しんいんひょうびょう	3	芸術作品のもつたいそう奥深くすぐれた趣のこと。
寸草春暉	すんそうしゅんき	3	父母の恩は大きくその万分の一も報いることが難しいことのとえ。
井渫不食	せいせつふしょく	3	賢者が登用されないままにいること。
彫心鏤骨	ちょうしんるこつ	3	身を削るような苦勞をすること。
銅駝荆棘	どうだけいきょく	3	国の滅亡を嘆くことのとえ。⇒荆棘銅駝
吐哺握髮	とほあくはつ	3	すぐれた人材を求めるのに熱心なこと。
肉山脯林	にくざんほりん	3	ぜいたくな宴会のこと。
八面玲瓏	はちめんれいろう	3	四方八方がすき通って明らかなこと。また、心にわだかまりがなく、すっきりと澄みきっていること。
撥乱反正	はつらんはんせい	3	乱れた世を治めて、もとの正常な世にもどすこと。
被髮纓冠	ひはつえいかん	3	非常に急いで行動すること。
風声鶴唳	ふうせいかくれい	3	ささいなことに驚いたりおじけづいたりすること。
霹靂閃電	へきれきせんてん	3	すばやいことのとえ。
墨痕淋漓	ぼっこんりんり	3	墨で表現したものが生き生きしているさま。墨の跡がみずみずしいさま。
面折廷諍	めんせつていそう	3	面と向かって臆することなく争論すること。
濫竽充数	らんうじゅうすう	3	無能の者が才能のあるよう見せかけること。また、実力もないのに、分以上の位にいること。
竜驤虎視	りょうじょうこし	3	世に威勢を示し、意気が盛んなこと。
竜蟠虎踞	りょうばんこきょ	3	険しい地勢。攻めるのに困難で守るのに便利な地勢。
霖雨蒼生	りんうそうせい	3	恵みを与えること。また、民を苦しみから救う人のこと。
魯魚亥豕	ろぎょがいし	3	文字の書き誤り。
矮子看戲	わいしかんぎ	3	見識のないことのとえ。
曖昧模糊	あいまいもこ	2	はっきりとしないさま。あやふや・不明瞭。
衣錦尚絅	いきんしょうけい	2	才能や徳を外にあらわに出さないこと。
一氣呵成	いっきかせい	2	ひといきに文章を書き上げること。また、ものごとを中断することなくひといきに仕上げってしまうこと。
慇懃無礼	いんぎんぶれい	2	表面はきわめて礼儀正しく丁寧であるが、実はひどく尊大であること。また、言葉づかいや態度などが丁寧すぎるのは、かえって無礼であること。
因循苟且	いんじゅんこうしよ	2	古い習慣や方法にこだわって、その場しのぎの手段をとること。また、決断力に欠け、ぐずぐずしてためらうさま。
禹行舜趨	うこうしゅんすう	2	禹や舜の表面上の動作をまねるだけで実質的な聖人の徳を備えていないこと。
枉駕來臨	おうがらいりん	2	わざわざお越しいただきまして、ということ。
横行闊歩	おうこうかっぽ	2	威張って気ままに歩き回ること。
屋梁落月	おくりょうらくげつ	2	友人を思う情が切なこと。⇒落月屋梁
溫清定省	おんせいいていせい	2	親に孝養を尽くすこと。
海底撈月	かいていろうげつ	2	実現不可能なことをやろうとして、余分な勞力を費やすこと。
鶴立企佇	かくりつきちよ	2	心から待ち望むこと。
豁然大悟	かつぜんたいご	2	迷いや疑いがにわかにか解けて、真理を悟ること。
瓦釜雷鳴	がふらいめい	2	小人や讒言が用いられるたとえ。また、能もないのにいばりわめくこと。
迦陵頻伽	かりょうびんが	2	声が美しいもののとえ。
檻猿籠鳥	かんえんろうちょう	2	自由を奪われ自分の思いどおりに生きることのできない境遇のとえ。⇒籠鳥檻猿
侃侃諤諤	かんかんがくがく	2	遠慮することなくさかんに議論をするさま。また、遠慮せず直言すること。
鞠躬尽瘁	きつきゅうじんすい	2	ひたすら心を尽くして骨折り国事につとめること。
堯鼓舜木	ぎょうこしゅんぼく	2	人の善言をよく聞き入れること。
狗尾続貂	くびぞくちょう	2	官爵を乱発するのをのしる語。また、劣った者がすぐれた者のあとを続けることのとえ。
輕佻浮薄	けいちょうふはく	2	考えが輕薄でうわついていること。
蹇蹇匪躬	けんけんひききゅう	2	自分のことは二の次にして、主人や人に尽くすこと。
肩摩轂擊	けんまこくげき	2	人や車の往來が多く、混雑しているさま。都会の雑踏。
牽攀乖隔	けんぱんかいかく	2	心は互いに引かれ合いながら遠く隔たっていること。
嘯矢濫觴	こうしらんしょう	2	物事のはじまり、おこり。
在邇求遠	ざいじききゅうえん	2	人としての正しい道は自分自身の中に求めるべきなのに、とかく人は遠い所にそれを求めようとするということ。
載籍浩瀚	さいせきこうかん	2	書物が多いことのとえ。
七嘴八舌	しちしはちぜつ	2	意見の多いこと。また、あちこちから意見の出ること。

## 漢字検定1級(H5~H25) 四字熟語問題出題統計

七縦七擒	しちしょうしちきん	2	敵を捕らえたり逃がしたりして味方にする事。
鵲巢鳩居	じゃくそうきゅうきよ	2	他人の地位を横取りすること。また、女性が嫁いで夫の家をわが家とすること。
蓴羹鱸膾	じゅんこうろかい	2	故郷を懐かしく思う情。
宵衣旰食	しょういがんしょく	2	天子が朝早くから夜遅くまで熱心に政治にはげむこと。
笙磬同音	しょうけいどうおん	2	人が心を合わせて仲良くするたとえ。
唇齒輔車	しんしほしゃ	2	お互いに助け合う密接な関係。⇒輔車唇齒
深厲淺揭	しんれいせんけい	2	その場の状況に応じて適切な処理をすること。
炊金饌玉	すいきんせんぎよく	2	たいへんなご馳走。
酔歩蹒跚	すいほまんさん	2	酒に酔ってふらふら歩くさま。
星火燎原	せいかりょうげん	2	初めは小さな勢力でも次第に成長して侮れなくなる。
切磋琢磨	せつさたくま	2	学問や修養によって自分を磨きあげる。
扇枕温衾	せんちんおんきん	2	親孝行なことのたとえ。
桑田滄海	そうでんそうかい	2	世の変転のはなはだしいたとえ。⇒滄海桑田
草滿囹圄	そうまんれいご	2	善政で国がよく治まっていること。
鑿礪括羽	ぞくれいかつう	2	学識をみがいて、世に役立つ人材になること。
樽俎折衝	そんそせつしょう	2	なごやかに交渉すること。
堆金積玉	たいきんせきぎよく	2	非常に多くの富を集めること。
断章取義	だんしょうしゅぎ	2	抜き出して用いること。他人の詩文の一部を取り出し、原文の前後の意味に無関係に勝手に解釈したり利用したりすること。
彫虫篆刻	ちょうちゅうてんこく	2	取るに足りない小細工。
喋喋喃喃	ちょうちょうなんなん	2	小声で親しげに話しあうさま。
枕戈待旦	ちんかたいたん	2	闘いの備えをおこたらないこと。
恫疑虚喝	どうぎきょかつ	2	心中ではびくびくしながら相手をおどすこと。
南橘北枳	なんきつほくき	2	人も住む環境によって、よくも悪くもなること。
拈華微笑	ねんげみしょう	2	言葉によらず、心から心へ伝えること。
博引旁証	はくいんぼうしょう	2	広く資料を引用し、根拠をあげて事を論ずること。
爬羅剔抉	はらてきけつ	2	隠れた人材をみつけ出して用いること。また、人の秘密や欠点をあばき出すこと。
筆削褒貶	ひっさくほうへん	2	批評の態度が公正できびしい「春秋筆法」を表す語。
筆力扛鼎	ひつりょくこうてい	2	文章の筆力が非常に強いこと。
氷壺秋月	ひょうこしゅうげつ	2	心がたいへん清く明らかなであることのたとえ。
飛揚跋扈	ひようぱっこ	2	強くてわがままに振る舞うたとえ。また、臣下がのさばり君主をしのぐたとえ。
俛首帖耳	ふしゅちようじ	2	人にこびへつらう卑しい態度のこと。
閉月羞花	へいげつしゅうか	2	美しい女性のこと。⇒羞月閉花
弊帚千金	へいそうせんきん	2	身のほどを知らないで思いあがるたとえ。
冒雨剪韭	ぼううせんきゅう	2	友人の来訪を喜んでもてなすこと。
茅屋采椽	ぼうおくさいてん	2	質素な家のこと。
万目睚眦	まんもくがいさい	2	たくさんの人ににらまれること。
夢幻泡影	むげんほうよう	2	人生がはかないことのたとえ。
勇氣凜凜	ゆうきりんりん	2	ものに恐れず勇ましいさま。
蕙苾明珠	よくいめいしゅ	2	無実の嫌疑をかけられること。
落英繽紛	らくえいひんぶん	2	散る花びらが乱れ舞うさま。
螻蟻潰堤	ろうぎかいてい	2	ほんの些細なことが、大きな事件や事故の原因となること。
驢鳴犬吠	ろめいけんばい	2	拙劣でつまらない文章や聞くに値しない話のたとえ。
哀毀骨立	あいきこつりつ	1	悲しみの極み。親との死別にひどく哀しむこと。
握髮吐哺	あくはつとほ	1	すぐれた人材を求めるのに熱心なこと。⇒吐哺握髮
安車蒲輪	あんしゃほりん	1	老人をいたわり手厚く遇するたとえ。
為虎傳翼	いこふよく	1	強い者がさらに力をつけること。
意匠慘澹	いしょうさんたん	1	工夫を凝らすのに苦心すること。
一饋十起	いっきじつき	1	賢者を求めるのに熱心なたとえ。
一蹶不振	いっけつふしん	1	一度失敗して二度と立ち上がれないたとえ。
一顧傾城	いっこけいせい	1	絶世の美人のたとえ。

## 漢字検定1級(H5~H25) 四字熟語問題出題統計

一瀉千里	いっしゃせんり	1	流れの非常に速いこと。転じて、文章や弁舌がよどみなく、すらすらできることのとえ。また、ものごとが速やかに進みかたづくこと。
萎靡沈滞	いびちんたい	1	物事の動きに活気や勢いがなく、さびしいこと。
異聞奇譚	いぶんきたん	1	きわめて珍しい話のこと。
因果観面	いんがてきめん	1	悪事の報いがすぐに目の前にあらわれること。
咽喉右臂	いんこうゆうひ	1	国を守るために重要な、地勢の険しい土地。悪害の地。
紆余曲折	うよきょくせつ	1	曲がりくねること。また、事情が込み入り複雑なこと。
雲竜井蛙	うんりょうせいあ	1	地位の上下や賢愚の差のはなはだしいことのとえ。
蜿蜿長蛇	えんえんちょうだ	1	へびのようにうねうねと長く続くこと。
燕頷虎頭	えんがんこうとう	1	燕のようなあごと、虎のような頭。遠国の諸侯となる人相をいう。⇒燕頷虎頭
燕頷投筆	えんがんとうひつ	1	一大決心をして志を立てること。また、文筆をやめて武の道に進むこと。
婉婉聽従	えんべんちょうじゅう	1	心がやさしく素直で、人の言うことに逆らわずに従うさま。
円木警枕	えんぼくけいちん	1	苦勞して一生懸命勉学に励むこと。
衍曼流爛	えんまんりゅうらん	1	悪が広くはびこり、世の中全体に広がっていくこと。
往事茫茫	おうじぼうぼう	1	過ぎ去った昔のことは遠くかすかで明らかでない。⇒往事渺茫
枉法徇私	おうほうじゅんし	1	規則をまげて私利私欲にはしること。
槐門棘路	かいもんきょくろ	1	政界の最高幹部のこと。
画脂鏤氷	がしろうひょう	1	苦勞して効果のないたとえ。また、力を無用なところに用いるたとえ。
禍棗災梨	かそうさいり	1	価値が低くて無駄な書物を出版することを批判する言葉。
河凶洛書	かとらくしよ	1	めったに手に入れることができない凶書のこと。
含飴弄孫	がんにろうそん	1	老人が気楽に隠居生活をする事。
轉軻不遇	かんかふぐう	1	思いどおりに事が運ばず、地位や境遇に恵まれないこと。
関関雎鳩	かんかんしよきゅう	1	非常に夫婦仲がよいこと。
顔厚忸怩	がんこうじくじ	1	あつかましい顔にもなお恥じる色があらわれる。
換骨奪胎	かんこつだつたい	1	外形はもとのままで中身を取りかえること。また、外見は同じでも内容が違うこと。
甘井先竭	かんせいせんけつ	1	才能のある者ほど先に憂き目にあうということ。
玩物喪志	がんぶつそうし	1	無用なものに熱中して、本業がおろそかになること。
含哺鼓腹	がんぼこふく	1	人々が豊かで平和な世を楽しむこと。
冠履倒易	かんりとうえき	1	上下の順序が乱れること。
規矩準繩	きくじゅんじょう	1	物事や行為の標準・基準となるもの。
危言覈論	きげんかくろん	1	激しく議論をたたかわせること。
規行矩步	きこうくほ	1	品行方正なこと。心や行動がきちんとして正しいこと。
鬼哭啾啾	きこくしゅうしゅう	1	戦場などの鬼気迫ったものすごいさま。
橘井杏林	きつせいきょうりん	1	医者に対する敬称。
驥服塩車	きふくえんしゃ	1	すぐれた人物が、低い地位にいたり、つまらない仕事をさせられること。
脚下照顧	きゃっかしょうこ	1	身近なことに気をつけるべきこと、自分のことをよく反省すべきことをいう。
九鼎大呂	きゅうていたいりよ	1	貴重なもの、重要な地位や名望のたとえ。
狂言綺語	きょうげんきご	1	小説や物語などをいやしめていう語。
協心戮力	きょうしんりくりよく	1	物事を一致協力して行うこと。
曲水流觴	きょくすいりゅうしょう	1	曲折した水の流に杯を浮かべ、それが自分の前を流れ過ぎないうちに詩を作り、杯の酒を飲むという風雅な遊び。
毀誉褒貶	きよほうへん	1	ほめたりけなしたりすること。
琴瑟相和	きんしつそうわ	1	人と人、特に夫婦仲のむつまじいことのとえ。
錦上添花	きんじょうてんか	1	よいもの美しいものの上にさらによいもの美しいものを加えること。
金声玉振	きんせいぎよくしん	1	才知と人徳を調和よく備えていること。また、偉大な人物として大成すること。
繫風捕影	けいふうほえい	1	雲をつかむようなどりとめなくあてにならないたとえ。
輕妙洒脱	けいみょうしゃだつ	1	洗練され気がきいており、俗っぽくなく爽やかなこと。
懸崖撒手	けんがいさつしゅ	1	勇気を奮い起こし思い切って事を行うたとえ。
狷介不羈	けんがいふき	1	自分の意志を守り通し、何者にも束縛されないこと。
喧喧囂囂	けんけんごうごう	1	多くの人がやかましく騒ぐさま。
乾坤一擲	けんこんいつてき	1	運命をかけて、一か八かの大勝負をすること。
阮籍青眼	げんせきせいがん	1	阮籍の青い眼。心から人を歓迎すること。

## 漢字検定1級(H5~H25) 四字熟語問題出題統計

豪華絢爛	ごうかけんらん	1	まばゆいほど美しく、華やかでぜいたくなさま。
傲岸不遜	ごうがんふそん	1	思いあがって、人に従おうとしないさま。
綱紀肅正	こうきしゅくせい	1	乱れた規律を正すこと。
剛毅木訥	ごうきぼくとつ	1	意志が強くて、飾りけがないこと。
槁項黃馘	こうこうこうかく	1	貧乏などでやつれきった顔のたとえ。
行尸走肉	こうしそうにく	1	才能も学問もなく、なんの存在価値もない人のこと。
曠日弥久	こうじつびきゅう	1	むだに長期間の日を過ごすこと。
孔席墨突	こうせきぼくとつ	1	物事に忙しく奔走して休む暇のないたとえ。
稿木死灰	こうぼくしかい	1	衰えて生氣がないさま。また、意欲に乏しいさま。無為自然の境地にあること。
毫毛斧柯	ごうもうふか	1	わざわざは小さいうちに取り除くべきだということ。
洽覽深識	こうらんしんしき	1	見聞が広く知識が深く豊富であること。
黃粱一炊	こうりょういつすい	1	一生が夢幻のようにはかないことのたとえ。
齋戒沐浴	さいかいもくよく	1	神仏にお祈りする前に、飲食や行動を慎み身を洗い清めること。
採薪汲水	さいしんきゅうすい	1	自然の中で簡素な生活を営むこと。
灑掃應對	さいそうおうたい	1	日常生活に必要な仕事や作法のこと。
洒掃薪水	さいそうしんすい	1	家事労働のこと。
豺狼当路	さいろうとうろ	1	暴虐で非道な人が重要な地位にあることのたとえ。また、権力を握っている者の暴虐のたとえ。
鑿壁偷光	さくへきとうこう	1	苦学することのたとえ。
左提右挈	さていゆうけつ	1	左右の手で携えること。互いに助け合うこと。
三豕涉河	さんししょうか	1	文字の誤り。文字を誤って読んだり書いたりすること。
斬新奇拔	ざんしんきばつ	1	物事の着想が独特で、これまでにない新しさを兼ね備えていること。
三世一爨	さんせいいつさん	1	三代の家族が一つの家に同居すること。
殘杯冷炙	ざんぱいれいしゃ	1	恥辱を受けるたとえ。
三面六臂	さんめんろっぴ	1	一人で数人分の働きをしたり、多方面で活躍したりすること。
疾風怒濤	しっふうどとう	1	時代が激しく変化することのたとえ。
社燕秋鴻	しゃえんしゅうこう	1	出会ったかと思うとまたすぐ別れることのたとえ。
車載斗量	しゃさいとりょう	1	人や物の数や量が多くてはかりきれないことのたとえ。
煮豆燃萁	しゃとうねんき	1	兄弟の仲が悪く、争い合うこと。
羞花閉月	しゅうかへいげつ	1	美しい女性のこと。⇒羞月閉花
衆口鑠金	しゅうこうしゃくきん	1	多くの人々のことば、特に世評の無責任さ、恐ろしさなどをたとえた語。⇒衆蚊成雷
終南捷徑	しゅうなんしょうけい	1	終南山には仕官の近道がある。また、正規の段階をふむことなく官職につく法をいう。
衆蚊成雷	しゅうぶんせいらい	1	小さなものもたくさん集まると大きな力になるということ。また、多くの人が口をそろえて言いたてて、害悪を生じること。
夙夜夢寐	しゅくやむび	1	朝早くから夜おそくまで。また、寝てもさめても、終日絶えずということ。
朱脣皓齒	しゅしんこうし	1	美人の形容。
朮羹艾酒	じゅっこうがいしゅ	1	朮でつくった羹(吸い物)とよもぎがはいった酒のこと。
春蛙秋蟬	しゅんあしゅうぜん	1	無用の言論。
春蚓秋蛇	しゅんいんしゅうだ	1	悪筆のたとえ。
城狐社鼠	じょうこしゃそ	1	権力者のかげに隠れて悪事をはたらく者のたとえ。
躡足附耳	じょうそくふじ	1	人に注意する場合には、相手の立場を考え相手を傷つけないような配慮が必要であるということ。
焦頭爛額	しょうとうらんがく	1	根本を忘れ瑣末なことを重視すること。また、物事を非常に苦勞してすること。
笑面夜叉	しょうめんやしや	1	顔は笑っていても心の底に一物あること。
芝蘭玉樹	しらんぎよくじゅ	1	すぐれた人材。すぐれた子弟。
砥礪切磋	しれいせつさ	1	つとめみがく。学問や品性をはげみ修養して大成を期すること。
人心収攬	じんしんしゅうらん	1	多くの人々の気持ちをうまくつかんでまとめること。また、人々の信頼を得ること。
晨夜兼道	しんやけんどう	1	昼夜の区別なく急行すること。仕事を急いで行うこと。
趨炎附熱	すうえんふねつ	1	時の権力のある者につき従うこと。
杜撰脱漏	ずさんだつろう	1	粗末で誤りの多いこと。ぞんざいで誤脱も多いこと。
寸善尺魔	すんぜんしゃくま	1	世の中にはよいことが少なくて悪いことが多いたとえ。
精衛填海	せいえいてんかい	1	不可能なことを企て、徒勞に終わること。また、いつまでも悔やみ続けること。
旌旗卷舒	せいきけんじょ	1	戦いが続くことのたとえ。

西施捧心	せいしほうしん	1	病に悩む美女のようす。
青天霹靂	せいてんのへきれき	1	思いもかけない出来事。
精励恪勤	せいいいかつきん	1	力を尽くして学業や仕事に励むこと。
積悪余殃	せきあくのよおう	1	悪事をかさねた報いが子孫にまで及ぶこと。
碩師名人	せきしめいじん	1	大学者や名声の高い人。大いなる徳を備えた人や声望のある人。
尺璧非宝	せきへきひほう	1	時間は何よりも貴重であるということ。
洗垢索瘢	せんこうさくはん	1	他人の欠点や誤りをどこまでも追求してほじくりだすたとえ。
浅酌低唱	せんしゃくていしょう	1	少々酒を飲んで小声で歌を口ずさむこと。⇒浅斟低唱
千射万箭	せんしゃばんせん	1	弓道で射手の心構えを説いた語。千本、万本の矢を射る場合でも、あとの矢をたのむことなしに、今射る一本をおろそかにしてはならないということ。
禪讓放伐	ぜんじょうほうばつ	1	中国古代の政權交代の二つの方法。君主が位を世襲せず仁徳ある者に譲る禪讓と暴政を行う君主を臣下が追放したり討伐したりして位を奪う放伐のこと。
浅斟低唱	せんしんていしょう	1	少々酒を飲んで小声で歌を口ずさむこと。
泉石膏肓	せんせきこうこう	1	自然や山水の中で暮らしたいという気持ちが非常に強いこと。
戰戰兢兢	せんせんきょうきょう	1	恐れてびくびくするさま。
滄海遺珠	そうかいのいしゆ	1	世に埋もれた有能な人材のたとえ。
桑弧蓬矢	そうこほうし	1	男子が志を立てること。
甌塵釜魚	そうじんぶぎょ	1	非常に貧しいことのたとえ。
漱石枕流	そうせきちんりゅう	1	強情で負け惜しみの強いこと。⇒枕流漱石
象箸玉杯	ぞうちよぎよくはい	1	ぜいたくな生活をする事。
草廬三顧	そうろさんこ	1	礼を尽くして有能な人材を招くこと。⇒三顧之礼
啐啄同時	そったくどうじ	1	逸することのできない好機。また、熟した機をとらえ悟りに導くこと。
大厦高楼	たいかこうろう	1	大きな建物のこと。
頹堕委靡	たいだいび	1	身体や気力などが、しだいにくずれおとろえること。
彈丸黒子	だんがんこくし	1	きわめて狭い土地のたとえ。
簞食瓢飲	たんしひょういん	1	清貧に甘んじるたとえ。
中原逐鹿	ちゅうげんちくろく	1	群雄が割拠して天子の位を争いあうこと。
躊躇逡巡	ちゅうちよしゆんじゆん	1	ためらって進まないこと。
綢繆未雨	ちゅうびゅうみう	1	前もって準備をしてわざわいを防ぐこと。
懲羹吹膾	ちようこうすいかい	1	一度失敗したことに懲りて、必要以上に用心深くなりすぎる事。
雕文刻鏤	ちようぶんこくる	1	文章中の字や句を美しく飾ること。
直截簡明	ちよくせつかんめい	1	くどくどしくなくきっぱりしていること。
沈魚落雁	ちんぎょらくがん	1	はなやかな美人の形容。
擲果滿車	てきかまんしゃ	1	非常に人気があり評判なこと。また、非常な美少年のこと。
天空海闊	てんくうかいかつ	1	気性がさっぱりとしていて、心が広いこと。⇒海闊天空
天地開闢	てんちかいびやく	1	天地のはじまり。世界のはじまり。
輾轉反側	てんてんはんそく	1	心配したり思い悩んだりして眠れず何度も寝返りをうつこと。
天步艱難	てんぽかんなん	1	時運に恵まれず非常に苦勞すること。
陶犬瓦鷄	とうけんがけい	1	格好ばかりで役に立たないもののたとえ。
韜光晦迹	とうこうかいせき	1	才能などを包み隠して表面にあらわさないこと。
同床異夢	どうしょういむ	1	同じ仲間や同じ仕事をしているものでも、考え方や目的がちがうことのたとえ。
稻麻竹葦	とうまちくい	1	たくさんあることのたとえ。多くの人や物が群がって入り乱れるさま。
兔起鶻落	ときこつらく	1	書画や文章の筆致に盛んに勢いがあることのたとえ。
得隴望蜀	とくろうぼうしよく	1	人間の欲望には限りがないということ。
斗折蛇行	とせつだこう	1	川や道などがくねくねと折れ曲がるさま。
凶南鵬翼	となんのほうよく	1	大事業や海外雄飛を企てることのたとえ。
駑馬十駕	どばじゅうが	1	才能のない者でも、たえず努力すれば才能のある者に肩を並べることができるということ。
南轅北轍	なんえんほくてつ	1	志と行動が相反するたとえ。⇒北轍南轅
南詒北暢	なんこうほくちょう	1	天子の威光と恩恵が四方八方に広くゆきわたること。
燃犀之明	ねんさいのめい	1	物事の本質を明らかに見抜く見識のあることのたとえ。
杯盤狼藉	はいばんろうぜき	1	酒宴のあと、杯や皿が散らかっているさま。また、宴席の乱れたさま。
白衣蒼狗	はいくわいそうく	1	世の変化のはやいたとえ。

## 漢字検定1級(H5~H25) 四字熟語問題出題統計

八面六臂	はちめんろっぴ	1	一人で何人分もの働きをすること。また、多方面でめざましく活躍すること。
白駒空谷	はつくくうこく	1	賢人が登用されず野にあること。
波瀾万丈	はらんばんじょう	1	物事の変化がきわめて激しいこと。
罵詈雑言	ばりざんぼう	1	ありとあらゆる悪口をいうこと。
罵詈雑言	ばりぞうごん	1	きたない言葉を吐きかけてののしること。
槃根錯節	ばんこんさくせつ	1	事柄が入り組んで、解決が困難なこと。
披荆斬棘	ひけいざんきょく	1	困難を克服し前進すること。
飛耳長目	ひじちょうもく	1	広く情報を収集し、物事を深く鋭く判断すること。⇒長目飛耳
尾大不掉	びだいふとう	1	臣下の力が強くてのさばり、君主の統制がとれないこと。
百花齊放	ひゃっかせいほう	1	学問や芸術が、自由にまた盛んに行われること。
百花繚乱	ひゃっかりょうらん	1	すぐれた人物や業績が、一時期にたくさん現れること。
猫鼠同眠	びょうそどうみん	1	どろぼうを捕らえる者とどろぼうがなれ合うこと。
牝牡驪黃	ひんぼりこう	1	物事は外見にとらわれず、その本質を見抜くことが大切であるということ。
風光明媚	ふうこうめいび	1	自然の景色が清らかで美しいこと。
不羈奔放	ふきほんぼう	1	なにものにもとらわれることなく、自分の思うままに振る舞うこと。⇒奔放不羈
伏竜鳳雛	ふくりょうほうすう	1	才能を持ちながら機会がなく実力を発揮できない者のこと。また、将来が有望な若者のたとえ。
舞文弄法	ぶぶんろうほう	1	法を都合のいいように解釈すること。
文質彬彬	ぶんしつひんぴん	1	外見の美しさと内面の実質がよく調和していること。
焚書坑儒	ふんしょこうじゅ	1	思想・学問・言論を弾圧すること。
並駕齊驅	へいがせいく	1	力や能力に差がないこと。
兵馬倥傯	へいばこうそう	1	戦争にあけくれて忙しいこと。
法界恠気	ほうかいりんき	1	他人のことを嫉妬したり、ねたんだりすること。また、他人の恋愛をねたむこと。
鵬程万里	ほうていばんり	1	遠大な道程のたとえ。海が限りなく広がることの形容。
蓬頭垢面	ほうとうこうめん	1	身だしなみが悪く、むさくるしいさま。
奔放不羈	ほんぼうふき	1	なにものにもとらわれることなく、自分の思うままに振る舞うこと。
摩頂放踵	まちょうほうしょう	1	自分の身を犠牲にして、他人のために尽くすこと。
無知蒙昧	むちもうまい	1	知恵がなく、物事の道理がわからないこと。
無余涅槃	むよねはん	1	肉体など形の制約から解放された悟りの境地。
銘肌鏤骨	めいきるこつ	1	心に深くきざみこんで忘れないこと。
鳴蟬潔飢	めいせんけつき	1	高潔の士はどのようなときにも節操を変えないたとえ。
明眸皓齒	めいぼうこうし	1	美人のたとえ。
盲龜浮木	もうきふぼく	1	出会うことがきわめて難しいこと。
孟母断機	もうぼだんき	1	学問は途中で放棄してしまっはなんにもならないという教え。⇒断機之戒
問牛知馬	もんぎゅうちば	1	相手の隠している心情を、巧みに誘導して聞き出すこと。
門巷填隘	もんこうてんあい	1	人が多く集まりくる形容。
夜郎自大	やろうじだい	1	自分の力量も知らず、偉そうな顔をしていばるたとえ。
勇往邁進	ゆうおうまいしん	1	目的をめざしまっしぐらに突き進むこと。
邑犬群吠	ゆうけんぐんばい	1	つまらない者どうしが集まって、あれこれ騒ぎたてること。
融通無礙	ゆうずうむげ	1	行動や思考がものにとらわれずのびのびしていること。
優游涵泳	ゆうゆうかんえい	1	ゆったりとした気持ちで学問や技芸の深い境地を味わう。
余韻嫋嫋	よいんじょうじょう	1	音声が鳴りやんでもなお残るひびきが、細く長く続くさま。
妖姿媚態	ようしびたい	1	いかにもなまめかしく美しい姿。
鷹視狼歩	ようしろうほ	1	猛々しく貪欲で残忍な人物のたとえ。また、勇猛ですきを与えない豪傑のたとえ。
雷霆万鈞	らいていばんきん	1	威勢がきわめて大きく防ぎとめることのできないたとえ。
落井下石	らくせいかせき	1	人の危機につけ込んでさらに痛めつけることをいう。
鸞翔鳳集	らんしょうほうしゅう	1	賢才が集まり来るたとえ。
戮力協心	りくりよくきょうしん	1	物事を一致協力して行うこと。⇒協心戮力
戮力同心	りくりよくどうしん	1	心をつにして力を合わせ一致協力すること。⇒同心戮力
流汗淋漓	りゅうかんりんり	1	汗が体中から流れ出て、したたり落ちること。
流金鑠石	りゅうきんしゃくせき	1	厳しい暑さのたとえ。

## 漢字検定1級(H5~H25) 四字熟語問題出題統計

流言蜚語	りゅうげんひご	1	確かな根拠のないいかげんなうわさ。
流觴曲水	りゅうしょうきょくすい	1	曲折した水の流に杯を浮かべ、それが自分の前を流れ過ぎないうちに詩を作り、杯の酒を飲むという風雅な遊び。⇒曲水流觴
竜吟虎嘯	りょうぎんこしょう	1	同類は相応じ従うということ。
竜攘虎搏	りょうじょうこはく	1	強い者どうしが激しく戦うこと。
竜頭鷁首	りょうとうげきしゅ	1	風流を楽しむ舟のこと。
竜騰虎鬪	りょうとうことう	1	きわめて激しい争いのたとえ。
冷嘲熱罵	れいちょうねつば	1	冷やかにあざけり熱心になじること。
鏤塵吹影	ろうじんすいえい	1	無駄な努力。やりがいのないことのたとえ。⇒吹影鏤塵
籠鳥檻猿	ろうちょうかんえん	1	自由を奪われ自分の思いどおりに生きることのできない境遇のたとえ。
魯魚章草	ろぎょしょうそう	1	文字の書き誤り。
和氣藹藹	わきあいあい	1	なごやかな気分が満ちあふれているさま。